

第 6 期科学技術基本計画に向けた提言案（ポイント）

令和元年 月 日
 科学技術・学術審議会
 国際戦略委員会

I. 科学技術イノベーションにおける国際活動の意義と基本的視点

○国際情勢の急激な変化

- ・科学技術を取り巻く地政学的条件が変化中、世界各国で国際研究ネットワークや国際共同研究が拡大
- ・我が国は、研究コミュニティに対する国際的な認知においても、質の高い相対的に安定したプレーヤーとして見られている可能性

○我が国の研究力の現状

- ・質的指標となる注目度の高い研究論文について、シェア及び世界ランクの双方が低下傾向。
- ・国際共著論文数は世界的に伸びているが、日本は国際流動性の低さを背景に、伸び率が相対的に低い。

⇒ 世界の知を取り込み、我が国の国際競争力を維持・強化するため、また、世界の研究ネットワークの主要な一角に位置付けられ、国際社会における存在感を発揮するため、科学技術の戦略的な国際展開を図ることがますます重要。第 6 期科学技術基本計画の 5 年間（2021 年～2025 年）は、科学技術の戦略的な国際展開を通じて、国際競争力を維持・強化し、国際社会における存在感を発揮する絶好のチャンス。研究力向上の観点からも、戦略的な国際展開を明確に位置づけ、あらゆる科学技術イノベーション政策の推進にあたっては、常に国際動向の分析の上で、グローバルな視点を持ち、国際展開を行う中で戦略性を持って取り組む視点の確保が重要。

II. 今後特に重点的に取り組むべき事項

1. 国際活動の推進

○国際共同研究の抜本的強化

- ・国際共同研究の強化は、我が国の研究力向上の鍵
- ・相手国政府機関と協働する「第 3 階層」の国際共同研究を中心に、国際共同研究プログラム予算を拡充
- ・国内向けとして実施されてきた研究プログラムにおいても、国際共同研究の推進を図る
→国際連携ノウハウの共有・蓄積を図りつつ、段階的に拡大

○グローバルに活躍する若手研究者の育成・確保

- ・若手研究者に対する海外研鑽機会の提供や諸外国の優秀な研究者の招へい等を引き続き実施
- ・海外から国内のアカデミックポストへ応募する際の手続きに関して、Web 応募の拡大等を通じ負担軽減を図るほか、海外での学位取得、教育研究の経験を有する者の積極雇用、クロスアポイントメント制度・サバティカル制度等の国際通用性のある人事制度の構築を推進

○ファンディング機関、大学・研究機関の国際化

- ・ファンディング機関の国際化の取組を引き続き推進
- ・大学・研究機関の国際化に向け、スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）や世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）等の取組による成果を、大学等組織内や他大学・研究機関へ横展開
- ・国内外の大学同士が連携して行う大学間交流を推進
- ・外部資金を活用した国際活動の推進
- ・海外事務所の活用

2. 科学技術外交

- ・「科学技術のための外交」と「外交のための科学技術」の二つの側面から、科学技術外交を推進
- ・外務大臣科学技術顧問の活動を引き続き推進
- ・先進国との間では、海外の優れた研究資源を活用しつつ、我が国の研究力向上にも資する国際共同研究等を推進、国際機関等との連携を強化
- ・新興国及び途上国において、我が国の強みを活かしたインクルーシブな科学技術協力を実施
- ・我が国が強みを持つ領域や関心の高い領域について、科学技術外交を引き続き推進
- ・大学間の交流、集団での協調行動の推進
- ・科学技術の国際展開を図る上で、海外への知識・技術・人材等の流出防止策についても考慮

3. STI for SDGs の推進

- ・国際協調と協力の下、我が国の科学技術イノベーション力を地球規模課題への対応に積極的に活用し、世界の持続的発展に主体的に貢献
- ・SDGs を軸に科学技術政策を進めることで、科学技術イノベーションに好ましいインパクト
 - 共通目標・共通言語化
 - 我が国のイノベーションエコシステムの変革
 - 新たな科学技術の潮流
 - 科学技術イノベーションへのこれまでなかった人材層の動員
 - 科学技術政策に社会的価値という軸
- ・SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）の研究成果の社会実装を加速、相手国政府の協力を得た出口ステークホルダーとの連携・協働の促進などを通じ橋渡しスキーム（Joint Research and Joint Social Implementation model）を構築
- ・地域におけるあらゆるステークホルダーを巻き込み、地域課題解決に向けた STI for SDGs 活動を展開
 - 国内のみならず、国境を越えてグローバルに展開し、スケールアップ
 - 日本の科学技術の国際展開、国際市場の開拓